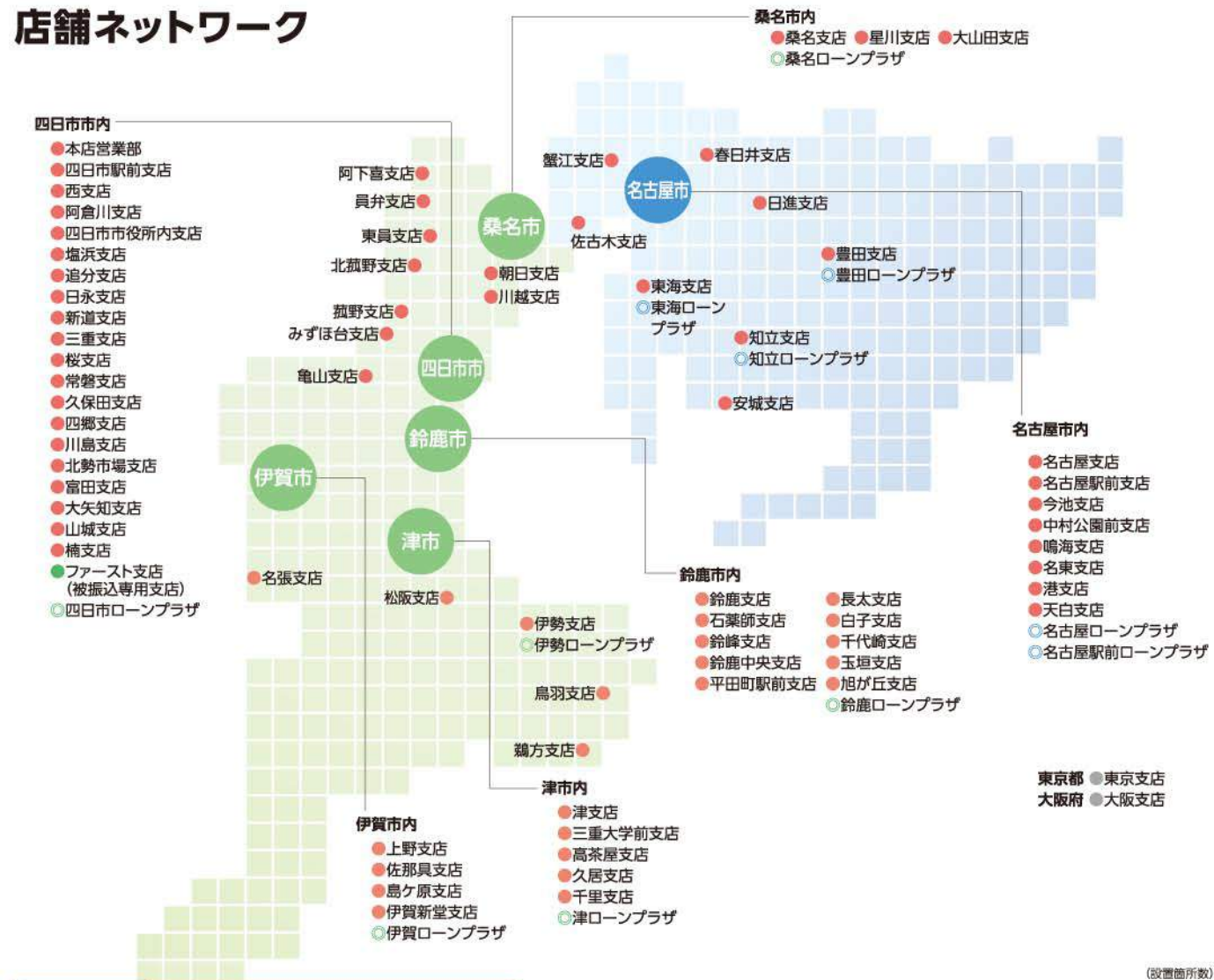


店舗ネットワーク



(設置箇所数)

	三重	愛知	東京	大阪	計
支店	57	16	1	1	75
ローンプラザ	6	5	—	—	11

(2017年5月31日現在)

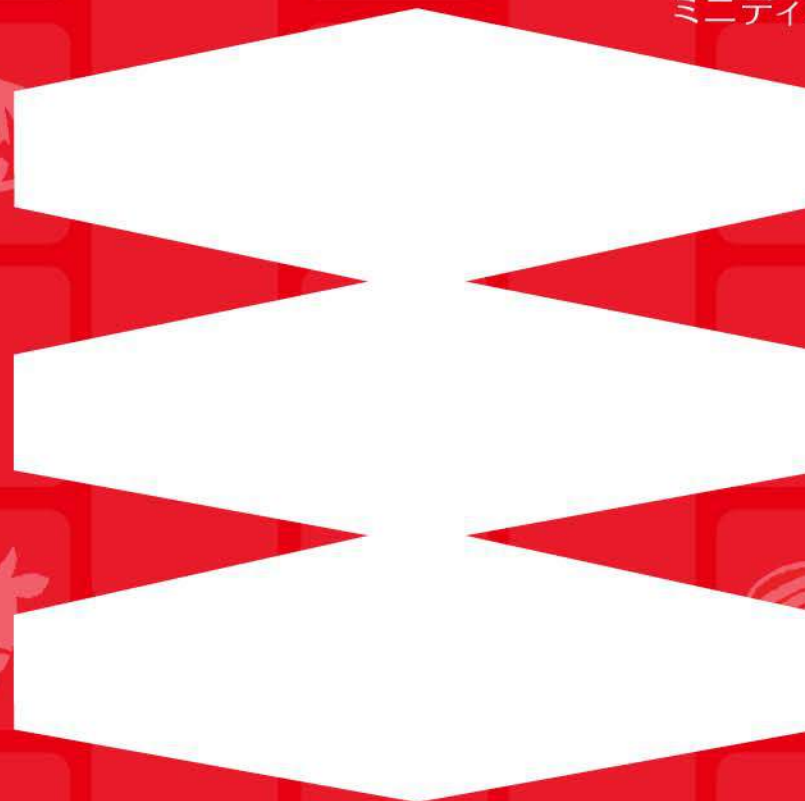
中期経営計画

成長～地域とともに～

(2015年4月～2018年3月)

2017.3 三重銀行

営業のご報告 ミニディスクロージャー誌



SPコードは、文字情報を音声情報に変換して記録するコードです。1.8cm角で800文字程度の情報を記録し、専用読み取り装置を利用して音声で聞くことができます。



地域とともに、みなさまとともに

経営理念

地域とともに
発展する銀行

お客さまとともに
栄える銀行

株主・従業員とともに
歩む銀行

Contents

中期経営計画	01
ごあいさつ	02
お客さま、地域とともに	03
株主さまとともに	09
従業員とともに	09
経営統合について	11
業績ハイライト	13
財務諸表	15
チャネルの充実	17

中期経営計画

成長 ～地域とともに～

(2015年4月～2018年3月)

目指す姿

地元で確固たる存在感を示し、
成長し続ける銀行

テーマ



▼ 中期経営計画 数値目標

	2018年3月期 目 標	2017年3月期 実 績	2016年3月期 実 績
ROE	3%以上	2.76%	3.04%
自己資本比率(完全適用ベース)	8%台	7.65%	8.04%
コア業務純益	50億円	33億円	35億円
地元(三重・愛知)貸出金末残	10,900億円	10,376億円	9,955億円
個人預かり資産末残	16,350億円	14,553億円	14,395億円

【用語説明】 ●ROE…当期純利益÷純資産で算出される収益性を示す指標。
●コア業務純益…期毎の大きな変動要因を除いた正味の収益を示す指標。
●個人預かり資産…個人の預金、投資信託、保険、公共債の合計。

ごあいさつ



「地元で確固たる存在感を示し、成長し続ける銀行」を目指して

日頃より私ども三重銀行をご利用、お引き立ていただき、誠にありがとうございます。

当行は、「地域とともに発展する銀行」、「お客さまとともに栄える銀行」、「株主・従業員とともに歩む銀行」という経営理念のもと、中期経営計画を「成長 ～地域とともに～」とし、お客さま、株主さま、従業員それぞれの満足度を高める施策を遂行し、地域とともに発展することをテーマとしています。

お客さまとともに成長していくためには、事業者の方、個人の方とのリレーションシップを強化し、魅力あるサービスを提供することが重要だと考えています。

お客さまとの接点を増やし、きめ細やかな課題解決を行う体制づくりとして順次進めてきましたフルバンキング化は2017年4月をもって完了し、全営業店で事業性のご融資を取り扱う「全店フルバンキング体制」を構築しました。

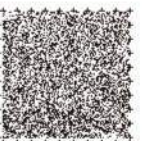
その上で、事業者のお客さまに対しては、ライフステージに応じた課題解決の提案を積極的に行っています。2016年10月には専門性の高い法人ソリューション案件に特化する「法人ソリューション営業部」を本部内に設置し、多様化するお客さまの資金調達手段のサポートをさらに強化しています。個人のお客さまに対しては、預かり資産やローン商品の提案能力向上と魅力ある商品を充実させることで、お客さまの幅広いニーズにお応えできるよう努めています。

今後も役職員が一丸となって、みなさまからのご期待に応えることで、地域とともに成長し、中期経営計画の目指す姿である「地元で確固たる存在感を示し、成長し続ける銀行」となれるよう努めてまいります。

なお、当行は2017年2月に第三銀行と経営統合検討について基本合意いたしました。本年9月の最終契約締結に向けて準備を進めてまいります。

どうか今後とも一層のご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

三重銀行
頭取 渡辺 三憲



日常的・継続的な面談を通じて、お客さまとのリレーションを構築し、それによって得られた情報をもとに、お客さまのニーズにきめ細やかなソリューションを提供してまいります。

全店フルバンキング化により、地域のみなさまのニーズに対してきめ細やかに対応します

■全店フルバンキング化の完了

2017年4月に全店フルバンキング化が完了しました。

法人営業部体制で培った専門性とフルバンキング化によるきめ細やかさで、より質の高い金融サービスを提供してまいります。

●営業体制の変遷

「法人営業部」体制
(2003年度～2016年度)

高度化、多様化するニーズに対応するため、営業ミッションを明確化した法人営業部体制へ

〈成果・課題〉

専門特化により職員のスキル向上やノウハウ蓄積が図られ、業績が大きく拡大

お客さまのニーズに更にきめ細やかに、総合的に対応する必要性の増大

全店フルバンキング体制
(2017年度～)

従来の体制で培った専門性と、フルバンキング化によるきめ細やかさをかけ合わせ、より質の高い金融サービスを提供できる体制へ

ライフステージ等に応じた最適なソリューションを提案・実行します

■法人ソリューション営業部によるサポート

2016年10月、営業推進部内に「法人ソリューション営業部」を設置しました。専門性の高いソリューション案件に特化することで、多様化するお客さまの資金調達手段のサポートをさらに強力に推進しています。

ストラクチャード
ファイナンス

プロジェクト
ファイナンス

シンジケート
ローン

ノン・リコース
ローン

デリバティブ等

LBO
ファイナンス

■みえぎんビジネスプランコンテスト

三重県・愛知県で創業・新事業展開を予定している法人・個人を募集し、2016年度は50件の応募がありました。このうち6件を表彰し、三重銀行グループが事業化に向けサポートを行っています。



■みえぎん次世代経営者育成塾

次世代経営を担う若手経営者を対象に、1年間に亘って開催しており、2017年度は24名に参加いただいています。



営業推進部
法人ソリューション営業部
坂本 隆太郎

プロジェクトファイナンス等の取上げから契約書作成、実行に至るまでの一連の手続きを担当しています。

積極的に司法書士、弁護士、コンサル等の専門家や行内の各部署と連携し、よりよい解決策を導き出すよう努めています。成約までの道のりは険しいですが、その成約時の達成感は何物にも代え難いものがあります。

地域の活性化につながる大型プロジェクトを成約させることが目標です。



商品ラインアップの充実等により、お客さまの幅広いニーズにお応えします

■FinTechを活用したロボ・アドバイザーツール

インターネット上で簡易な質問にお答えして頂くことで、お客さまのファンド選びをサポートするロボ・アドバイザーツール「ポートスター」を導入しました。

ロボアドバイザーでファンド選び「ポートスター」を使えば約1分！

ファンド選びに悩むアナタをサポート！
「eMAXIS 最適化バランス」の中でアナタに最適な1本をご提案！

無料
(2016年11月末日時点)

PORTSTAR × eMAXIS

■ライフプランに応じたローン商品

お客さまのあらゆるニーズにお応えできるよう、多彩なローン商品をご用意しています。

教育ローン

様々な教育資金に対応

授業料のほか、アパート等入居時の敷金・礼金や引越費用などにもご利用いただけます。

フリーローン

いざという時に

お客さまの目的にあわせて使いみちを自由にご利用いただけます。

マイカーローン

お車の購入の際は

お車の購入費用のほか、修理・車検費用や金融機関等からの借換えにもご利用いただけます。

■個人型確定拠出年金(愛称:iDeCo)の取扱い

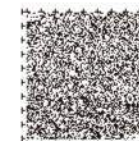
2017年1月から加入者範囲が拡大し、税制優遇もあるiDeCoを、老後に備える資産形成手段のひとつとして積極的にご案内しています。

iDeCo 3つの税制優遇

月々の掛金が
全額所得控除

運用益は非課税
で再投資

受け取るときも
税制優遇措置



地方創生、地域活性化へ積極的に参画しています

お客さま、地域とともに

地域における地方創生への取組みに積極的に参画し、地域の活性化に寄与してまいります。またNPOのみなさまを地域活性化の重要な担い手として応援してまいります。

■6次産業化支援事業

三重県から委託を受け「三重県6次産業化サポートセンター」を三重銀総研内に設置し、事業計画作成や実践研修会の開催等により、多くの企業を支援しています。

●6次産業とは

農業や水産業などの第1次産業が食品加工・流通販売にも事業展開している経営形態。



支援を行った「椿茶園」(三重県鈴鹿市) 自社生産した茶を活用したカフェテリアと加工品等の直売所

■医療ツーリズムを志向したコーディネート

インバウンド誘客の方策として成長が見込まれる「医療ツーリズム」について、医療、宿泊、アミューズメント関係施設等とコラボした様々なコンテンツ作りを積極的に行っています。

2016年度には、津市の温泉旅館 湯元榊原館と学校法人鈴鹿医療科学大学の協働事業を企画し、「鍼灸・薬膳宿泊プラン」の実現をコーディネートしました。



■商談会の開催によるプロモーション強化支援

2017年3月、地元の観光資源や地域資源のプロモーション強化を国内、海外で目指されている自治体及び事業者さまを対象に、株式会社KADOKAWAとの一括マッチング商談会を開催しました。



●一括マッチング商談会とは

元請企業のニーズ(商品の仕入先拡大、各種協力企業の募集等)に対して、ニーズに合致する事業者等を募集して、元請企業との面談をセットするビジネスマッチング。

■「クラウドファンディング」の活用による資金調達・販路拡大のサポート

ミュージックセキュリティーズ株式会社と連携して、インターネットを利用して個人投資家から事業資金を集める「クラウドファンディング」を活用し、お客さまの資金調達や販路拡大のサポートを行っています。

●2016年度のサポート案件の一例

異国精肉店ザ・アミーゴス BBQファンド
(募集期間2017年3月17日～9月29日)

2017年4月に開園した「レゴランドジャパン」に隣接する商業施設「メーカーズピア」内にオープンする、「ザ・アミーゴスGRILL&BBQ」店の設備資金等を募集する出資型マイクロ投資ファンド

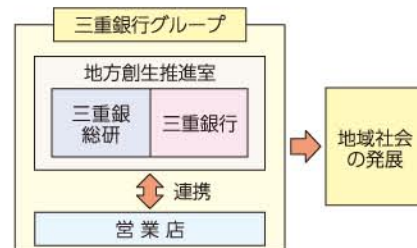
●出資型マイクロ投資ファンドとは

プロジェクトごとにファンドを設立し、少額(マイクロ)の資金の投資を募る形態。



地方創生推進室

「地方創生」に資する企画を立案するとともに、営業店と連携を強化し、三重銀行グループで実効性の高い取組みを推進することを目的に、2015年4月に設置した「地方創生プロジェクトチーム」を発展的に再編し、2016年4月に「地方創生推進室」を設置しました。



■地方公共団体・商工会議所等との連携・協力による地域活性化

地方創生の諸問題に取り組むことで新たな地域活力の創出に寄与することを目的に、地方公共団体、商工会議所等と連携協定を締結しています。

●2016年度締結の連携協定先

四日市の4商店街(一番街・諏訪・諏訪西・本町通り)振興組合(5月)、名張商工会議所(7月)、春日井商工会議所(10月)、志摩市(2017年3月)



四日市の4商店街振興組合との連携協定

■NPOの支援

▼寄付による応援

2004年度以降、地元NPOに寄付を行い、活動を応援しています。2016年度は、次世代育成支援を主な活動分野とする11団体に対し総額100万円(各団体に4万円～16万円)を寄付しました。

また、当行経営陣と「NPO交流会」を開催し、2016年度は4つの団体と意見交換を行いました。

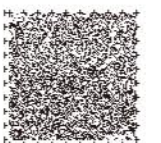
▼NPOと協働による取組み

2016年10月 育児休職中の職員向け懇談会の中で、「NPO法人 ほがらか絵本畑」と協働で、「絵本の読み聞かせ講座」を行いました。



▼NPO向けのご融資

NPO法人の「つなぎ資金」ニーズに対応する「NPOローン」等により、資金需要にお応えしています。2005年よりNPOローンを開始して以来、累計融資実行額は24件/84百万円となりました。(2017年5月末時点)



環境保全、次世代育成支援の取組み

地域とともに

「環境保全」と「次世代育成支援」を社会貢献活動の柱として、様々な取組みを行っています。

■ 植樹活動

「環境保全」、「次世代育成支援」を目的に、「みえぎん まなびの森」(三重郡菰野町内)や御在所岳山上において、定期的に植樹活動などを行っています。

▼「みえぎん まなびの森」での植樹

2016年7月、当行職員並びに職員家族他25名で「植樹会 および工作教室」を行いました。



▼ 御在所岳山上での植樹

2016年9月、御在所岳山上で植樹活動を当行職員並びに職員家族他38名で行いました。

御在所岳山上で種を採取し「みえぎん まなびの森」(三重郡菰野町)で育成した、ドウダンツツジ、ヤシオツツジ、ミズナラ計100本を植樹しました。



■ 環境にやさしい店舗づくり

太陽光発電システムや屋上緑化の導入、自然光の採り入れ(太陽光照明スカイライトチューブの設置)、全照明のLED化など環境にやさしい店舗づくりを進めています。



■ 環境経営の充実

環境方針、環境目標を策定し、電力使用量の削減、紙使用量の削減等に取り組んでいます。

「みえぎん まなびの森」づくり

「環境保全」、「次世代育成支援」を目的に三重県菰野町内の当行保有地において、認定NPO法人「森林(もり)の風」と協働で「みえぎん まなびの森」づくりを行っています。



■ スポーツ振興による次世代育成

地域のスポーツ振興による次世代育成を図ることを目的に、2017年5月に「三重銀行杯 第5回三重県小学生ティースポーツ選手権大会」を開催しました。2017年7月には「第3回みえぎんカップ 三重銀行杯 少年サッカー大会」を開催予定です。

写真上段 三重銀行杯 三重県小学生ティースポーツ選手権大会
写真下段 みえぎんカップ 三重銀行杯少年サッカー大会



■ 金融リテラシー教育の実施

学生や生徒の皆さんに金融・経済の知識を学んでもらう場を提供するために、各地の学校に出向いて出張授業を行っています。

■ 中学生の職場体験学習の受入れ

職場体験を通じて、「社会人としての自立を考える」という教育活動に賛同し、銀行業務を体験していただくプログラムに協力しています。



積極的な情報開示に努めています

当行は、ステークホルダー（お客さま、株主さま・投資家、従業員、地域等）に対する情報発信活動に積極的に取り組んでいます。情報開示を通じて、ステークホルダーとのコミュニケーションを一層充実させてまいります。

株主さまとともに

●株式併合、単元株式数の変更について
2016年10月1日をもって、株式併合（10株を1株に併合）および単元株式数の変更（1,000株から100株）を実施しました。

●当行株式についてのお問い合わせ先
株主名簿管理人：日本証券代行株式会社
連絡先：〒168-8620
東京都杉並区和泉2-8-4
日本証券代行株式会社
代理人部（フリーダイヤル）
☎ 0120-707-843

IR・CR活動

株主さま・投資家への情報発信活動（IR活動）として、「株主さま講演会」や、年2回東京で機関投資家等向けに会社説明会を開催しています。また、地域への情報発信活動（CR活動）として、「経営ご報告会」を各地で開催し、頭取から当行の経営の内容などについて説明しています。



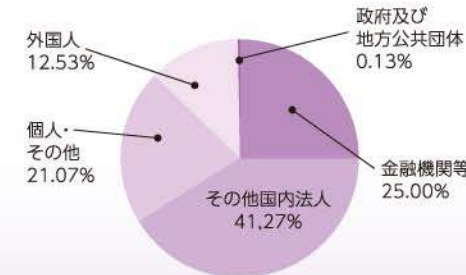
ディスクロージャー誌、ミニディスクロージャー誌の発行

決算状況、トピックスをお客さまや株主のみなさまにタイムリーにわかりやすくお知らせするため、ディスクロージャー誌、ミニディスクロージャー誌を発行しており、当行に関する情報の積極的な発信に努めています。

株式の状況（2017年3月31日現在）

- ▶発行可能株式総数…………… 25,000,000株
- ▶発行済株式の総数…………… 13,483,034株
- ▶株主数…………… 5,939名

▼所有者別株式分布状況



▼大株主（上位10名）

（2017年3月31日現在）

株主名	所有株数(千株)	持株比率(%)
1 銀泉株式会社	1,062	7.88
2 株式会社三井住友銀行	776	5.75
3 三重銀行従業員持株会	441	3.27
4 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	360	2.67
5 三井住友カード株式会社	330	2.45
6 株式会社セディナ	324	2.40
7 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	278	2.06
8 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	238	1.76
9 住友電装株式会社	219	1.62
10 大日本住友製薬株式会社	205	1.52

働きがいのある職場づくり

子育て支援やワークライフバランスの推進を通して、男女がともに活躍し、キャリアアップを図ることができる、働きがいのある職場づくりに取り組んでまいります。

従業員とともに



東海支店
久田 真弓

「わくわく子育てサポートプラン」の育児短時間勤務制度を利用しています。限られた時間の中で効率よく仕事を進められるよう日々努力しています。また帰宅後は子どもと話をしたり宿題を見たり、子どもとのコミュニケーションを大切にしています。仕事と家庭の両立ができるのは、家族の支えや、理解ある職場の方々のおかげだと感謝し、今後も笑顔を忘れず全力で仕事と育児を頑張りたいと思います。



「ファミリーサポートプラン」の新設

2017年1月に従来の介護制度をより拡充させた「安心介護サポートプラン」を新設しました。子育て支援制度である「わくわく子育てサポートプラン」と総称して「ファミリーサポートプラン」とし、ワークライフバランスの推進に努めています。

●仕事と家庭の両立水準等に対する認定・評価

「プラチナくるみん」
東海三県下初認定

2015年11月



「ベストプラクティス賞」
受賞

2016年11月

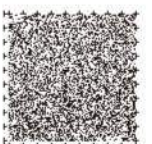


●わくわく子育てサポートプランの内容

施策	内容
最長3年間の育児休職期間	保育所に入所できない等の事情がある場合、育児休職期間を最長3年間とする
育児短時間勤務制度	小学校3年生修了までの子を養育する職員に短時間勤務を認める制度（5.5時間、6時間、7時間の短時間勤務を利用可能）
育児再雇用制度	育児・出産を理由に退職した職員が退職後5年以内に復職を望む場合、退職前と同資格で再雇用する制度
所定外労働免除制度	小学校3年生修了までの子を養育する職員の所定外労働を免除する制度

●安心介護サポートプランの内容

施策	内容
介護休職制度	通算365日まで3回を上限とした介護休職を認める制度
介護短時間勤務制度	介護による短時間勤務を利用開始から3年間で上限として利用できる制度（5.5時間、6時間、7時間の短時間勤務を利用可能）
介護休暇制度	介護休暇を年5日まで時間単位で取得できる制度
所定外労働免除制度	介護終了まで所定外労働を免除する制度



第三銀行との経営統合に関する基本合意について

第三銀行と経営統合に向け協議・検討を進めており、2018年4月に持株会社を設立予定です。

共同記者会見



(左)三重銀行:渡辺頭取 (右)第三銀行:岩間頭取

三重銀行と第三銀行は、2017年2月28日開催の両行の取締役会において、経営統合に向け、協議・検討を進めていくことについて基本合意することを決議いたしました。同日、両行の間で基本合意書を締結し、共同記者会見を行いました。

■背景

環境変化	・人口減少、高齢化の進展等、社会の構造的な問題 ・FinTech等の技術革新を通じた異業種からの参入 ・市場金利低下による競争激化
経営課題	三重県、愛知県及び近接地域におけるプレゼンスを高める強固な経営基盤の確立

両行の経営資源やノウハウを相互活用し、将来を見据えた新たなビジネスモデルを確立するため、協議・検討を開始

■経営統合の目的・基本方針

両行は、以下の基本方針に従い、統合の相乗効果の発揮により、三重県、愛知県及び近接地域における経済活性化の実現に向けて地域との信頼関係を更に強化し、お客さまから愛され、お客さま、地域とともに成長する金融グループを目指します。

●基本方針

- (1) 三重県に本店を置く地域金融機関として、経営環境の変化に応じた新たなビジネスモデルを確立し、三重県、愛知県及び近接地域内のマーケットでの競争力を高めます。
- (2) 両行間の連携強化を通じて、中小企業や個人のお客さまへ高度な金融サービス機能と金融仲介機能を発揮し、地域経済活性化に貢献いたします。
- (3) 行員が活躍できる機会の拡大を図ることで、行員のモチベーションを高めるとともに、全ての役職員が互いを尊重しながら融和を図り、新たな企業文化を確立することで、一体感を持って成長戦略にチャレンジいたします。
- (4) 両行の強みや特色を最大限に活かすとともに、徹底した合理化、効率化により、統合の相乗効果を最大限に発揮いたします。

■新グループの概要

両行は、対等の精神での統合を前提に、それぞれの強みを生かすことで相乗効果を発揮することを優先し、持株会社設立による経営統合を目指すことといたしました。持株会社については、その機能を高める方針であり、持株会社傘下の銀行子会社の合併を含めたグループ内再編等、様々な観点からの検討を加えることで、企業価値の向上を図ってまいります。

●主な指標

	三 重 銀 行	第 三 銀 行	単 純 合 算
総資産(連結)	1兆9,811億円	2兆220億円	4兆32億円
預金残高(単体)	1兆6,608億円	1兆7,970億円	3兆4,578億円
貸出金残高(単体)	1兆3,811億円	1兆2,601億円	2兆6,413億円

(2017年3月末時点)

●店舗数

	三 重	愛 知	和歌山	岐 阜	奈 良	東 京	大 阪	合 計
三 重 銀 行	57	16	-	-	-	1	1	75
第 三 銀 行	64	18	5	2	2	1	6	98
合 計	121	34	5	2	2	2	7	173

(2017年3月末時点)

■相乗効果

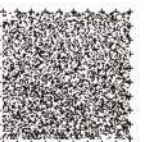
営業基盤の拡充	三重県、愛知県及び近接地域内における営業基盤の拡充
金融仲介機能の拡充	両行の融資ノウハウの活用、ビジネスマッチング・事業承継等の本業支援を通じた地域経済活性化
経営の効率化	本部組織のスリム化、本部機能の効率化、コスト削減

■今後のスケジュール(予定)

2017年 9月
経営統合に関する最終契約締結

2017年12月
臨時株主総会

2018年 4月
持株会社設立



業績ハイライト(2017年3月期)

貸出金残高

1兆3,811億円

貸出金は、地元事業性貸金を中心に増加し、前年比437億円(3.2%)増加しました。

地元三重・愛知では、前年比420億円(4.2%)増加しました。



地元事業性貸出金残高

5,787億円

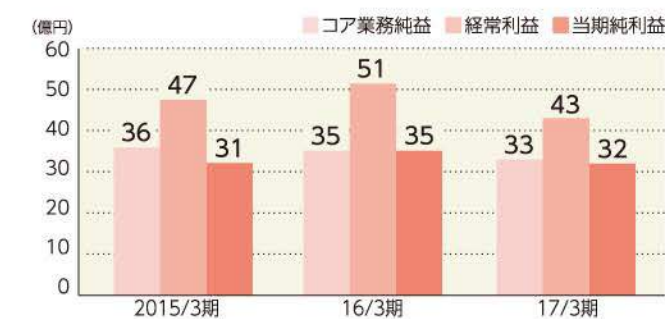
地元(三重・愛知)事業性貸出金は、中小企業へのご融資を中心に前年比435億円(8.1%)増加しました。



利益

コア業務純益 33億円 経常利益 43億円 当期純利益 32億円

コア業務純益は貸出金利回りの低下などから前期比減益となりました。経常利益、当期純利益は、有価証券関係損益の減少などから、それぞれ前期比減益となりました。



不良債権比率

1.38%

金融再生法に基づく開示債権は194億円、総与信に対する比率は1.38%と資産の健全性は引き続き高い水準を維持しています。(参考)2016年9月末 地銀平均1.95%



預金・譲渡性預金残高

1兆7,602億円

預金・譲渡性預金は、地元預金を中心に増加し、前年比431億円(2.5%)増加しました。

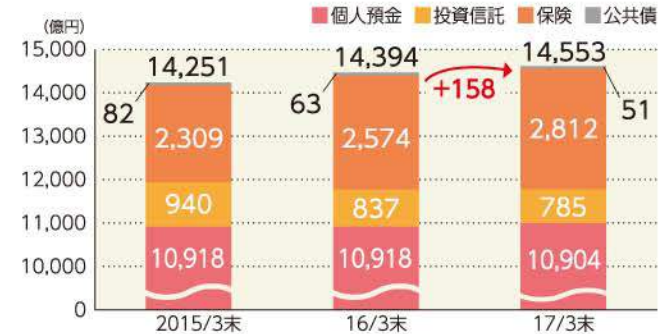
地元三重・愛知では、前年比323億円(2.0%)増加しました。



個人預かり資産残高

1兆4,553億円

個人預かり資産は、保険を中心に残高を伸ばし、前年比158億円(1.0%)増加しました。



自己資本比率(国内基準)

7.87% (単体) 8.15% (連結)

自己資本比率は、単体で7.87%、連結で8.15%となり、求められる水準を大きく上回っています。



格付け

当行は日本格付研究所(JCR)から格付けを取得しています。当行の健全な財務内容が評価され、良好な格付けとなっています。

日本格付研究所(JCR)

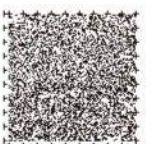
長期発行体格付



債務履行の確実性は高い

当行の格付(長期発行体格付)はA(格付の見直し:安定的)となっておりましたが、2017年3月にクレジットモニター(※)の指定を受け、#A(見直し方向:ネガティブ)へ変更されております。

※付与された格付けについて、重大な事象が発生し又は見込まれるために変更の可能性があることをいい、それが解除となるまで格付記号の前に「#」が付付けられます。



単体財務諸表

▼ 貸借対照表(単体)

			(単位:百万円)		
科 目	2016年3月期末 (2016年3月31日)	2017年3月期末 (2017年3月31日)	科 目	2016年3月期末 (2016年3月31日)	2017年3月期末 (2017年3月31日)
【資産の部】			【負債の部】		
現金預け金	123,021	103,815	預金	1,622,232	1,660,804
コールローン	2,292	3,527	譲渡性預金	94,800	99,400
買入金銭債権	2,394	3,466	債券貸借取引受入担保金	12,238	12,104
商品有価証券	71	72	借入金	62,000	54,000
有価証券	438,180	444,913	外国為替	1	4
貸出金	1,337,403	1,381,145	その他負債	10,329	9,164
外国為替	2,338	2,268	賞与引当金	560	521
その他資産	8,499	9,541	退職給付引当金	83	95
有形固定資産	10,588	10,365	執行役員退職慰労引当金	56	61
無形固定資産	1,780	2,544	睡眠預金払戻損失引当金	161	163
前払年金費用	4,009	3,525	繰延税金負債	8,445	7,985
支払承諾見返	8,953	8,557	支払承諾	8,953	8,557
貸倒引当金	△ 4,603	△ 3,984	負債の部合計	1,819,862	1,852,863
資産の部合計	1,934,930	1,969,759	【純資産の部】		
			資本金	15,295	15,295
			資本剰余金	11,144	11,144
			利益剰余金	67,226	69,604
			自己株式	△ 56	△ 61
			(株主資本合計)	(93,609)	(95,982)
			其他有価証券評価差額金	22,705	21,576
			繰延ヘッジ損益	△ 1,247	△ 662
			(評価・換算差額等合計)	(21,458)	(20,913)
			純資産の部合計	115,067	116,895
			負債及び純資産の部合計	1,934,930	1,969,759

会社概要

商 号:株式会社 三重銀行
本店所在地:三重県四日市市西新地7番8号
設 立:1895年11月15日
資 本 金:153億円(東証・名証一部上場)
総 資 産:1兆9,697億円

資 金 量:1兆7,602億円
貸 出 金 残 高:1兆3,811億円
拠 点 数*:支店 75 ローンプラザ 11
※拠点数のみ2017年5月末時点

▼ 損益計算書(単体)

			(単位:百万円)		
科 目	2016年3月期 (2015年4月1日～ 2016年3月31日)	2017年3月期 (2016年4月1日～ 2017年3月31日)	科 目	2016年3月期 (2015年4月1日～ 2016年3月31日)	2017年3月期 (2016年4月1日～ 2017年3月31日)
経常収益	27,431	26,873			
資金運用収益	18,824	17,736			
(うち貸出金利息)	(14,886)	(14,041)			
(うち有価証券利息配当金)	(3,819)	(3,568)			
役務取引等収益	5,742	5,848			
その他業務収益	1,382	1,776			
その他経常収益	1,480	1,511			
(うち貸倒引当金戻入益)	(104)	(193)			
経常費用	22,293	22,476			
資金調達費用	2,318	1,597			
(うち預金等利息)	(1,336)	(759)			
役務取引等費用	1,930	1,929			
その他業務費用	185	113			
営業経費	17,772	18,064			
その他経常費用	86	770			
(うち貸倒引当金繰入額)	(-)	(-)			
経常利益	5,137	4,397			
特別利益	85	104			
特別損失	64	246			
税引前当期純利益	5,158	4,255			
法人税、住民税及び事業税	1,242	1,188			
法人税等調整額	416	△ 162			
法人税等合計	1,658	1,026			
当期純利益	3,500	3,229			
(参考)業務純益	3,774	3,685			
(参考)コア業務純益	3,539	3,382			

〈単位未満切捨〉

連結財務諸表

▼ 貸借対照表(連結)

			(単位:百万円)		
科 目	2016年3月期末 (2016年3月31日)	2017年3月期末 (2017年3月31日)	科 目	2016年3月期末 (2016年3月31日)	2017年3月期末 (2017年3月31日)
【資産の部】			【負債の部】		
現金預け金	123,045	103,835	預金	1,614,544	1,653,833
コールローン及び 買入手形	2,292	3,527	譲渡性預金	94,800	99,400
買入金銭債権	2,394	3,466	債券貸借取引受入担保金	12,238	12,104
商品有価証券	71	72	借入金	67,173	60,393
有価証券	436,942	443,715	外国為替	1	4
貸出金	1,334,087	1,375,057	その他負債	17,155	15,984
外国為替	2,338	2,268	賞与引当金	625	573
リース債権及び リース投資資産	7,003	8,635	退職給付に係る負債	183	182
その他資産	15,574	20,010	執行役員退職慰労引当金	56	61
有形固定資産	11,003	10,768	睡眠預金払戻損失引当金	161	163
無形固定資産	1,806	2,553	繰延税金負債	8,439	8,132
退職給付に係る資産	3,757	3,693	支払承諾	8,953	8,557
繰延税金資産	292	289	負債の部合計	1,824,333	1,859,390
支払承諾見返	8,953	8,557	【純資産の部】		
貸倒引当金	△ 5,939	△ 5,264	資本金	15,295	15,295
資産の部合計	1,943,624	1,981,186	資本剰余金	11,388	11,437
			利益剰余金	70,249	72,949
			自己株式	△ 56	△ 61
			(株主資本合計)	(96,876)	(99,621)
			其他有価証券評価差額金	22,898	21,797
			繰延ヘッジ損益	△ 1,247	△ 662
			退職給付に係る調整累計額	△ 183	118
			(その他の包括利益累計額合計)	(21,468)	(21,252)
			少数株主持分	945	920
			純資産の部合計	119,290	121,795
			負債及び純資産の部合計	1,943,624	1,981,186

三重銀行グループ 連結子会社(5社)

(2017年5月末現在)

- (株)三重銀総研
- 三重銀総合リース(株)
- (株)三重銀カード
- 三重銀信用保証(株)
- 三重銀コンピュータサービス(株)

▼ 損益計算書(連結)

			(単位:百万円)		
科 目	2016年3月期 (2015年4月1日～ 2016年3月31日)	2017年3月期 (2016年4月1日～ 2017年3月31日)	科 目	2016年3月期 (2015年4月1日～ 2016年3月31日)	2017年3月期 (2016年4月1日～ 2017年3月31日)
経常収益	32,874	32,721			
資金運用収益	18,773	17,627			
(うち貸出金利息)	(14,899)	(14,043)			
(うち有価証券利息配当金)	(3,751)	(3,453)			
役務取引等収益	6,157	6,226			
その他業務収益	1,383	1,776			
その他経常収益	6,559	7,091			
(うち貸倒引当金戻入益)	(51)	(190)			
経常費用	27,168	27,790			
資金調達費用	2,349	1,624			
(うち預金等利息)	(1,334)	(759)			
役務取引等費用	1,751	1,757			
その他業務費用	185	113			
営業経費	18,950	19,055			
その他経常費用	3,931	5,239			
(うち貸倒引当金繰入額)	(-)	(-)			
経常利益	5,705	4,931			
特別利益	85	105			
特別損失	64	246			
税金等調整前当期純利益	5,727	4,789			
法人税、住民税及び事業税	1,498	1,380			
法人税等調整額	505	△ 160			
法人税等合計	2,003	1,220			
当期純利益	3,723	3,569			
非支配株主に帰属する当期純利益	45	20			
親会社株主に帰属する当期純利益	3,677	3,548			

〈単位未満切捨〉

コミュニケーションチャンネルを充実させ、ますます 便利に

■ ホームページコンテンツのリニューアル

● 新機能「10秒フイック診断」

各種ローンのお申込み検討の際に簡易診断ができる新機能「10秒フイック診断」を新設しました。

※お借入れをご検討される際の目安であり、実際のお借入時の審査結果と異なる場合があります。



②必要項目を入力し、「診断する」をクリック

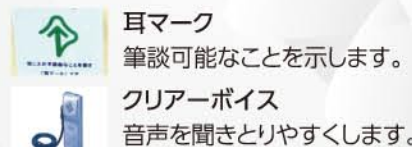
■ 「LINE」で旬の情報をお届け

スマートフォンのコミュニケーションアプリ「LINE@」のアカウントを開設し、「旬のキャンペーン」や「新商品・サービス」などの情報をタイムリーに発信しています。



■ 円滑なコミュニケーション

様々なツールを活用し、安心してご利用いただける店舗づくりに取り組んでいます。



■ ハンドセット付ATM

音声でご案内する手順に従って操作することで、お取引いただくことができます。



筆談器・コミュニケーションボード
意思をスムーズに伝えていただくツールです。

■ 広報物の音声化

文字情報を音声で聞くことができる「SPコード」(右下にあるコード)をディスプレイ誌などに導入しています。「SPコード」を読み取る装置を5か店に設置しており、「SPコード」の認知度向上にも協力しています。



「SPコード」専用読取装置
(スピーチオ)

■ ATM

▼ 提携ATM



▼ ATM相互無料開放行

ご出金※	三井住友銀行 大垣共立銀行 第三銀行 イオン銀行 関西アーバン銀行 三重県下JAバンク	ご入金	大垣共立銀行 第三銀行 イオン銀行
------	--	-----	-------------------------

※所定の時間外のご利用には、別途時間外手数料(108円)が必要となります。

▼ ATMでのキャッシュカード振込の一部利用制限

全国で多発する振り込み詐欺の未然防止の為、一部の方のキャッシュカードによるATM振込を2017年6月2日より利用停止とさせていただきます。

【対象となる方(毎月1回判定)】

70歳以上のお客さまのうち、過去3年間、ATMで当行のキャッシュカードを使ったお振込の利用実績がないお客さま

■ インターネットの不正利用にご注意ください!

インターネットバンキングの不正利用・不正送金に関する犯罪が引き続き全国で多発しています。

当行のインターネットバンキングでもセキュリティ等必要な対策は講じておりますが、お客さまにおかれましても不正利用・不正送金防止および被害軽減のため、以下の対策をおすすめしています。

● 類推されやすい番号の利用を避け、定期的な暗証番号の更新

インターネットバンキングご利用にあたっては類推されやすいログイン暗証、確認暗証の利用を避け、ログイン暗証・確認暗証は定期的に変更してください。また、パソコン等端末内やクラウドサービス等外部のサービス内に会員番号・ログイン暗証・確認暗証・秘密の質問を保存しないようにしてください。

● ログイン履歴や取引履歴の確認

インターネットバンキングにログインした際、ログイン後最初の画面右上に表示される、直近のログイン履歴や取引履歴を確認し、万が一、身に覚えのない履歴があった場合には、速やかに当行あてにご連絡ください。

● 振込限度額の引き下げ設定

インターネットバンキングで設定された振込限度額の引き下げを希望されるお客さまにつきましては、インターネットバンキングの画面上での即時変更の手続きが可能です。

万が一、不正取引が発生した時の被害を最小限に留めるため、振込限度額を必要最低限の金額まで引き下げることをおすすめしています。

● ウイルス対策ソフト等の導入と、ウイルス定義ファイルの最新状態への更新

お客さまご自身におかれましてもウイルス対策ソフトの導入、及びウイルス定義ファイルを最新の状態に更新していただくよう、ご注意願います。

当行インターネットバンキングではフィッシング詐欺※対策として、ウイルスによる不正送金や様々な攻撃よりパソコンを守るフィッシング対策ソフト「SaAT Netizen」を当行ホームページから無料でダウンロードをできるようにしています。ご利用いただいていない方は、この機会にぜひご利用ください。

※フィッシング詐欺：不特定多数のターゲットに対して、金融機関やクレジットカード会社による正規の通知に偽装したメールを送り、接続リンク上で個人情報を打ち込ませる詐欺。

お問い合わせ先

三重銀行EBサービスセンター

☎0120-330-995

受付時間/月曜日～金曜日(祝日を除く) 9:00～17:00

